

科目名	社会資本政策
担当者	大石久和
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	<p>われわれの暮らしは、個人的努力によって達成される「私的」な部分と、社会的に提供される「公的」な部分とで成り立っている。この公的なものは社会システムといってよいものだが、それは法律などの制度系と道路・水道などの装置系から構成される。</p> <p>本講では、特に装置系システムの整備に着目し、整備の歴史的経緯を過去からの贈り物ととらえ、さらに国内に閉じる装置システムでも、世界との比較とで理解しなければならない意味を説く。道路・港湾などの装置は世界の各国との経済競争の手段であり、これを理解することで初めてわが世代の責任や国や地方の政策課題が明確になるからである。</p> <p>また、このシステム整備は国民の意思によって規定されるから、主権者である国民が正しい情報に基づき合理的な判断をしなければならない。それはほとんどメディアに左右されるから、「国民が主権者として判断できるための情報が、十分な質と量でタイミングよく伝わっているか」が重要となる。そこで、知識人たる本講の受講者が持つべき現代知識人に必須のメディアリテラシーについて理解を深める。</p> <p>さらに本講では、装置系システムを「国土への働きかけ」と考え、世界の人々が長い歴史のなかで国土に働きかけて来たものは何なのか、それはわれわれとどう異なるのか、そのことがわれわれの思考性癖などにどのように影響したのかを考えて「まったく新しい日本人論」を提出する。</p> <p>以上の認識と理解を通じて「次世代を担う知識人」としての自覚を深める。具体には以下の通り。</p> <p>①わが国土は長い歴史のなかで、どのように整備形成されてきたのか。それは現世代の生活の、安全、効率、快適を確保するのに十分な水準にあるのか。それはわが国が経済的に競争している国の水準に比べて、いかなるレベルにあるのか。（ここではものごとの理解に比較が必須であることを「比較学」として理解する）</p> <p>②今後の国土経営にあたって何を目指していくのか。国や地方公共団体の役割を、地方分権や道州制議論のなかでどのように理解していくのか。</p> <p>③市民や住民はこの議論のなかでどのように関わり、責任を果たすのか。住民参加の意味、合意形成のあり方、地域連携都市連携との関わりのなかでどう考えていくのか。</p> <p>④「情緒主義」とか「その場主義」とかと批判されるわれわれ日本人の思考性癖は一体何に由来するのか。キッシンジャーに「（日本人は）相手にするに値しない」とまで非難されてしまうのは何故なのか。</p> <p>受講生が企業人として生きていく場合でも、問題解決のためには解決仮説の案</p>

	<p>出が重要だが、正解に近い仮説にたどり着くことはなかなか困難である。科学の発展を歴史的に追い、多くの仮説が検証過程で消えていく様を学んで、特に社会科学系での検証の重要性について、講義途中でのトピックスとして紹介していく。</p> <p>これらの事項を順次概観していく。できれば、ハーバードのマンデル教授的な受講者諸君との活発なブレインストーミングを期待する。</p>	
授業の到達目標	<p>①国土の歴史的な形成過程を理解し、国土の実情（自然条件・社会条件及び社会資本の整備状況）を国際的比較の中で説明できる。</p> <p>②マスメディアに向き合うリテラシーを獲得し、報道を鵜呑みにしない対峙力を身に付ける。</p>	
授業計画	<p>(1) グローバル時代にはばたくための「若き知識人認識」</p> <p>(2) 「知」の方法論とメディアリテラシーの重要性</p> <p>(3) 政策判断と情報</p> <p>(4) 国土計画の沿革と都市計画の歴史</p> <p>(5) 都市形成の論理と日本人論</p> <p>(6) 日本人の思考性癖（中国・西欧との比較での理解）</p> <p>(7) 国土学概論・国土の歴史的形成・江戸時代まで</p> <p>(8) 国土学概論・国土の歴史的形成・明治以降</p> <p>(9) 国土学概論・国土の自然条件と社会条件の国際比較</p> <p>(10) 戦後道路史</p> <p>(11) 仮説と検証の重要性・具体例Ⅰ（脚気・燃焼など）</p> <p>(12) 仮説と検証の重要性・具体例Ⅱ（光・天動説など）</p> <p>(13) 土地と日本人</p> <p>(14) 社会資本における意志決定（住民参加とその方法）</p> <p>(15) 国土学理念の確認（時間軸と空間軸）</p>	
教科書	なし	
参考文献	『国土学再考 「公」と新・日本人論』 『国土学事始め』 ともに毎日新聞社 大石久和著	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	
	レポート 70%	
	平常点評価 30%	
	その他 %	
関連URL	財団法人 国土技術研究センター http://www.jice.or.jp/	
備考	多くの学生と意見交換を通じて会話力・表現力を身につけさせたい	